

次号予告

グラフ＝精神科における保護工場の一例.....	高茶屋病院	大橋 博
特集＝WCPT 学会・WFOT 学会から		
WCPT 学会傍聴記	イギリス整形外科病院	荻原新八郎
WFOT 学会傍聴記	リハビリテーション学院	鈴木 明子
座談会：世界の PT・OT	司会・東京病院	芳賀 敏彦
WCPT の組織	リハビリテーション学院	松村 秩
WFOT の組織	リハビリテーション学院	鈴木 明子
講座		
電気療法(最終回).....	東大病院	玉川 鉄雄
脳性麻痺児の更衣の指導(3).....	東大病院	鎌倉 矩子
精神薄弱児の育て方(2).....	都立心身障害福祉センター	池田由紀江
隣接領域から		
特殊教育.....	都立教育研究所	池田 親
私の職場		
厚生年金玉造整形外科病院.....		竹内由里子
海外だより		
イギリスの理学療法(2).....	イギリス整形外科病院	荻原新八郎
器具の管理		
義足・義手.....	国立身体障害センター	鈴木 正彦 横田 和子
研究と報告		
精神科における保護工場の一例.....	高茶屋病院	大橋 博
脊髄損傷における Rolling Plaster Jacket, Rocking Plaster Shell		
治療体系に関連せるリハビリテーションプログラム.....	徳島大学	野島 元雄
座談会		
スウェーデンの学生と語ろう.....		C・バーグ

編集後記

リハビリテーション医学が進歩すればするほど、それに関与する人々がふえ、職種も細分化していくと思います。それ自体はたいへん喜ばしいことなのですが、とすると、自分の職種においてのみ、その質を高めんと努力する傾向がありはしまいかという危惧を感じます。分化されたものを再び統合して、リハビリテーションという広い概念から、ものをみていくという面をも忘れてはならないでしょう。そして、更に、リハビリテーションの中央に居るのは、常に障害者自身であることに思いをいたさねばならないでしょう。

最近、読者の方々から、ご意見やご投稿をいただくことが多くなり、編集部一同喜んでおります。よりよいものをめざして今後もがんばりたいと思います。

頁数の都合により「電気療法(最終回)」と「精神薄弱児の育て方(2)」は、次号に掲載させていただきます。(Y)

特集「作業療法士協会学会より」いかがでした

か？

歴史や蓄積のなさという制約の中で独力で開催された今大会は OT の誇りと自覚の原点としてのモニュメントとなることでしょう。

こういった各パートの自立があってこそリハビリの正しい連帯が確立するのだと思います。

9月13日からは PT 学会が開かれます。この本が皆さんのお手もとに届くころには昨年以上の成果が成功のうちにちかちかしているでしょう。

グラフでは WCPT・WFOT を取り上げました。国際的にも日本の OT・PT は認められたわけですが、しかし、内実としては解決せねばならぬ問題は特例試験の問題をはじめとてかえって増加しておりけって安穩としてはられません。

技術的にも人間的にも OT・PT に要求されるものは社会の多様化に対応してより高度なものとなっておりま。ティビカルなものへの志向でなく1人1人の努力の総和こそがそれに応えうのでしょう。(M)

編集委員

砂原 茂一
国立療養所東京病院長
上田 敏
東大病院リハビリ部
高橋 勇
整肢療護園医務部長
松村 秩
福屋 靖子
野本 卓
日本理学療法士協会
鈴木 明子
寺山 久美子
横田 和子
日本作業療法士協会

編集顧問

相沢 豊三
秋元 波留夫
天児 民和
飯野 三郎
大島 良雄
勝木 司馬之助
河邨 文一郎
小池 文英
児玉 俊夫
杉山 尚
椿 忠雄
津山 直一
水野 祥太郎

編集同人

浅野 達雄
井上 正吾
遠藤 文雄
大塚 欣壮
小野 啓郎
佐久間 穰爾
中村 裕
浜島 良知
原 武郎
細川 忠義
宮地 昭郎
和才 嘉昭
米倉 豊子
(担当 乾・矢島・三輪)